学校番号	121

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ａ　現代からの歴史（東京書籍）						
副教材等	図説 日本史通覧（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという点から、近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考える活動を通して、歴史への興味・関心を高め、歴史を学ぶ意義を理解しましょう。その際に、年表や地図、写真などの資料を活用して、地域の文化遺産、博物館や資料館の調査、見学などを行いましょう。このことによって、地域社会の国民生活や文化の動向について触れ、過去から現在へのつながりを意識しましょう。

２　学習の到達目標

（１）我が国の近現代の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、世界史的視野に立って総合的に考察することができる。
（２）歴史的思考力を高め、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	我が国の近現代史の展開から課題を見出し、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の近現代史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追及し考察した過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち、国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	課題レポート ワークシート 観察	定期考査 課題レポート ワークシート 観察	定期考査 課題レポート ワークシート 観察	定期考査 ワークシート 観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	序章　私たちの時代と歴史・第1章　近代日本の形成	序章　私たちの時代と歴史 開国までのあゆみ 近代の幕開け 第１章　近代日本の形式 １　国際情勢の変化と明治維新	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:近代にいたるまでの過程について、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:近代に至るまでの過程において、日本だけでなく世界史的観点より多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:近代に至るまでの過程において、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり絵や図表などにまとめたりしている。 d:近代に至るまでの過程において、日本と周辺各国との関わりを理解している。	定期考査 ワークシート 観察
	第1章　近代日本の形成	第1章　近代日本の形成 ２　明治新政府の諸改革 ３　立憲国家の成立	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:欧米の啓蒙主義が取り入れられる中で実学主義にもとづく学制が公布され、人々の生活にも欧米文化が取り入れられ始めたことについて関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b：四民平等、徴兵令の公布、秩禄処分について学び、国民皆兵や殖産興業の実現と身分制度改革の関連について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり絵や図表などにまとめたりしている。 d:政府がロシアとの交渉により国境を画定していったことや列強諸国に配慮しつつ国境を画定していったことを理解している。	定期考査 課題レポート ワークシート 観察

2学期	第2章　東アジア世界の変動と日本・第3章　二つの世界大戦と日本	第2章　東アジア世界の変動と日本 1　日清戦争と近代社会の確立 2　日露戦争と帝国日本の形成 第3章　二つの世界大戦と日本 1　第一次世界大戦と帝国日本 2　政党政治の時代	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:列強による中国分割が進む過程で日本とロシアの対立が進むことに興味・関心を抱き、意欲的に追求しようとしている。 b:植民地獲得競争の激化により始まった第一次世界大戦の時期に、日本が中国への侵略を進めた経緯を学び、そのことが日本と中国や欧米列強との関係に与えた影響について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり絵や図表などにまとめたりしている。 d:米騒動後に成立した本格的な政党内閣は、国際協調をめざす英米に協調してワシントン体制に参入し、軍縮を進め、中国への進出を後退させたことを理解している。	定期考査 課題レポート ワークシート 観察
	第3章　二つの世界大戦と日本・第4章　第二次世界大戦後の国際社会と日本	第3章　二つの世界大戦と日本 3　軍国日本への道 4　太平洋戦争 第4章　第二次世界大戦後の国際社会と日本 1　現代世界の開幕と日本戦後改革 2　高度経済成長の時代	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:1960 年代には高度経済成長が実現した一方で、開放経済体制への移行が進んだことで日本の企業が陥った状況について興味・関心を抱き、意欲的に追求しようとしている。 b:GHQ の指令を受けて進められた民主化及び非軍事化の内容と経緯について学び、GHQ の改革が戦後日本社会に与えた影響について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり絵や図表などにまとめたりしている。 d:平和を模索する動きの中から国際連合が成立した一方、アメリカとソ連を二つの極とする東西冷戦が始まったことを理解している。	定期考査 課題レポート ワークシート 観察

3学期	第5章　現代の世界と日本	1　国際秩序のゆらぎと経済大国日本 2　冷戦の終焉と日本	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:経済成長を優先した結果、公害などの社会問題が生じたため、環境や福祉、平和、女性差別の撤廃等に対する人々の関心が高まり、革新勢力への支持が高まったことに興味・関心を抱き、意欲的に追求しようとしている。 b:地図を用いて、沖縄の基地がアメリカ軍にとってなぜ重要なのかを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり絵や図表などにまとめたりしている。 d:冷戦構造に変化が生じる中、日本やアメリカと中華人民共和国との国交正常化が実現したことを理解している。	定期考査 ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。